

# WEEKLY

Rotary



The Rotary Club of Ichinomiya

- 例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
- 事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931 フax 491-0858

## 人類に奉仕するロータリー

URL:<http://rc138.org>

E-Mail:[rc138@lily.ocn.ne.jp](mailto:rc138@lily.ocn.ne.jp)

2017年2月16日  
第3278例会

### プログラム

#### 会員卓話

谷 一夫君

テーマ「市長16年を振り返る」

ロータリーソング 「それでこそロータリー」

第3277回例会の記録  
2017年2月9日(木)

#### 会長挨拶

松田暁昌  
本日は卓話講師として東海ラジオ放送(株)制作局報道部長の村上和宏様と私の同級生で元東海ラジオ取締役の加藤康雄様をお迎え致しました。

本日は60%ルールについてです。

国際ロータリーは昔ロータリアンに出席の大切さを理解させるためには、例会出席の競争をさせたらよいだろうと考え行つたそうです。この競争はアメリカ・カナダなど広い地域を単位として行なわれ、日本は未だかつてこの競争に参加したことは無いそうです。たとえば会員数100名にクラブで1名欠席すると出席率は1%減少しますが、50名のクラブですと2%減少して出席率は98%。国際ロータリーは会員数によりグループингをしてその中で競争させました。出席に基準は、例会時間の60%在籍すれば出席、それ未満は欠席、簡単です。これはロータリアン不信を前提としたルールでありあくまでも競争のルールなのです。

毎週の例会は自己研鑽の場、心を磨くところ。遅刻・早退と言うのはありえない。それを定款上のルールとして採用してしまったところに問題がある。これはロータリーの衰退以外の何物でもないと言わなければなりません。と会長エレクト研修セミナーでご教授頂きました。

#### 次回の予定

2/23(木)を2/18(土)に例会変更  
西尾張分区IM 名鉄ニューグランドホテル  
3/2 イニシエーションスピーチ  
橋本かおる君 梅谷朋志君

# 一宮

題字 PG 安野譲次



重文 「陵王」面 真清田神社蔵

会長	松田 暁昌	幹事	山田 一仁
会長エレクト	青山 佳裕	幹事	関戸 徹
副会長	木村 実	広報会報委員長	村手 誠



### 新会員紹介

氏名	宮本 育
職業分類	損害保険
勤務先	損害保険ジャパン日本興亜(株)
役職名	名古屋支店一宮支社長
生年月日	昭和48年1月28日
紹介者	森 俊夫君

#### 出席報告

現在の会員数	102名
本日のビジャー	0名
本日の出席数	59名
他クラブ出席数	11名
本日の出席率	68.62%
前々回の出席率	97.70%

#### 委員長

河村富貴

102名
0名
59名
11名
68.62%
97.70%

#### ニコボックス

☆ 猪子誠児君

2月6日から3月の6日の期間、毎週月曜日に一宮モーニング協議会主催の朝学が開催され先日N HKの取材が入り、主催者側としてインタビューを受け多くの皆様より「見たよ！」と声かけ頂きました。

☆ 大森輝英君

中日スポーツ杯争奪・第58回愛知県軟式野球新春リーグ戦に9年ぶり4度目の優勝を果たすことができました。愛知県下2700チームの中、A級10チームによるリーグ戦です。こんどは軟式野球の頂点である天皇杯3度目の優勝目指し頑張ります。

☆ 桑原英寿君

三菱東京UFJ銀行白木支社長の紹介で中部経済新聞社の取材を受け当社ベトナム工場他を色々記事として掲載させて頂きました。海外工場強化よろしくお願いします。

☆ 鎌田芳彰君

観劇チケットを頂きました。有難うございました。

☆ 柳原 譲君

観劇チケットをいただきました。ありがとうございます。楽しみにしています。

☆ 松田暁昌君 山田一仁君

本日は東海ラジオ放送(株)制作局報道部長、村上和宏様をお迎えし、ドラゴンズ内部の打ち明け話と題して卓話を頂きます。お忙しい中誠にありがとうございます。よろしくお願ひ致します。東海ラジオ放送OB加藤康雄様ようこそ

## ロータリーの友2月号紹介

浅野 一

世界はますますロータリーを必要としています。世界は、私たちロータリアンが提供できる寛容・協力・希望を必要としています、快く友情を築きながら一緒に活動できる事を証明した組織を必要としています。よいことを行うと選択すれば、よいことは付いてくると私たちは皆知っています。つまり「超我の奉仕」を人生の指針とすれば、それが善に満ちたものへと導いてくれるのです。RI会長からもメッセージです。7頁には会員数が経て十分な活動が出来なくなつたクラブが他のクラブと合併をして、その後どうなつてゐるのかが紹介されています。縦書きスピーチでは、曹洞宗長徳寺住職の酒井大岳さんの講演が紹介されており、四つのテーマの最初は「善きことをなす」です。『法句經』118「善きことをなすに楽しみを持つべし」「もしひとよきことをなさばこれをまたなすべし よきことをなすにたのしみをもつべし 善根をつむは幸いなればなり」と説いておられます。2番目には、「喜ばれる悦び」として「果報を求める」善きことをしてもその見返りを求めることが大事であると書いておられます。3番目は「共に喜ぶ」同じ仕事を、皆で力を合わせて進めていき、出来上がった時の喜びは大勢・団体の喜びとなる事を教えておられます。最後の4番目では「語るより歩む」人生は理屈ではなく実践である。黙ったまま実践していく事が大事である。と結んでおられます。まさに「超我の奉仕」を思わせる貴重な講演内容でした。

\* \* \* \* \* プログラム \* \* \* \* \*

卓話

村上和宏氏

(東海ラジオ放送(株)制作局 報道部長)

テーマ「ドラゴンズここだけの話し」



ドラゴンズは森新監督の下「原点回帰」をスローガンに再スタートを切った。

常勝軍団と言われた落合政権時代から高木政権を経て谷繁政権と監督が代わる中、高木政権1年目こそ2位でクライマックスシリーズに進出し、日本シリーズ進出まであと一歩まで迫ったもののその後は4年連続Bクラス、去年は19年振り最下位と低迷が続いている。この不振は監督の手腕によるところも大きいが、最大の原因是脈々と続く球団の負の歴史そのものである。

星野氏が30代の若さで監督に就任した1987年、谷沢・牛島・大島といった将来の監督候補をことごとく引退、トレードでドラゴンズから放逐したことが今の球団が置かれた状況を作った発端である。殿堂入りを果たした星野氏が名監督であることは間違いないが、その裏の顔として自身の地位を脅かす存在を風潰しにし、目先の勝利のために選手を使い捨てるという冷徹な面を持っていた。更に、オーナー白井文吾氏の顔をつぶす監督

人事への介入が後に大きな禍根を残した。

山田監督解任のあとオーナーの鶴の一声で落合政権が発足したが、この背景には監督適任者の人材不足が大きな影を落としている。

落合政権8年間で生え抜きのコーチをほとんど採用せず、数少ない生え抜きも要職に就けなかつた事で監督適任者の人材不足は益々深刻さを増し、これが谷繁、森が監督になった一因となつた。

また、オーナーから「全権監督」のお墨付きを得た落合は球団のみならず新聞社の人事にまで口を出し、選手の年俸にも大きな発言権を發揮してかつてない混乱をもたらした。しかし、勝負の世界は勝敗が全て。強かつたことがこうした負の部分を覆い隠してしまった。

在任中ドラフトで獲得した選手のうち、即戦力で活躍した一握りの選手を除いて、じっくり育て数年後花開く高卒選手はもちろん大半の選手を育てることができなかつた。

そのような高卒選手をわずか2、3年で解雇したことでスカウトが築いてきた高校との信頼関係が崩壊し、今もスカウト活動に大きな影を落としている。落合解任の際、「坊主憎けりや袈裟まで憎い」状態になつた新聞社の姿勢もドラゴンズのあり方に禍根を残した。高木政権は2年で幕を閉じ、谷繁に白羽の矢が立つたが落合をGMとしたことで更なる混乱を招くことになった。

本来、監督として持つべき権限を「プレイングマネージャーだから」という理由で谷繁から取り上げ、落合GMに移譲したことにより正常な球団運営が不可能となつた。コーチは落合が選任した者と谷繁が選任した者との間に埋め難い溝を生じ、選手も谷繁の言うことを聞くのか、GMの言うことを聞くのかという言わば「踏み絵」を踏まされる状況を生じた。監督専任となった去年、谷繁は権限が戻つてくると思っていたがGMは権限を手放さず、両者の溝は更に深いものとなり、結果として谷繁解任へつながつた。

白井氏が絶対的な独裁ともいえる力を持っているからこそGMという立場を保つてきた落合も、新聞社役員からの解任に向けての強い意見に白井氏もついに従わざるを得ず1月一杯で職を辞することになった。

森監督が就任要請の際出した条件は「落合が持っている権限を全て私に戻すこと」一点だった。

大半が落合によって選任されたコーチ陣ではあるが、自身もそうである森監督はこれまで現場で「落合派」のリーダーとして君臨してきたのでチーム運営には問題は無いと考える。

選手も踏み絵を踏まされるような状況から解放されるので、純粋に野球に取り組める環境がやっと生まれた。

あとはこれまでやってきた様々な「あってはならないこと」について選手がどう考えるかが鍵になろう。しかし、前述のとおり強ければ何事も上手く回り、弱ければ問題が表面化してチームがばらばらになる。これまで参謀として手腕を發揮してきた森監督がトップとしてどうチームを引っ張っていくのか、今年の最大の注目点である。

## 例会変更案内

クラブ名	例会日	例会場	受付
一宮 北	2月17日(金)	一宮商工会議所ビル	有
尾 西	2月20日(月)	尾西信用金庫本店	有